

富岡地域づくり 協議会だより



第9号

平成29年1月31日

広報委員会

<http://www.town-tomioka.click/>

富岡地区新年賀詞交歓会が開催されました



1月7日（土）15時より、富岡地区体育館にて富岡地区新年賀詞交歓会が開催されました。「輝かしい新年を迎えるにあたり、地域の人々が一堂に会し、慶び、語り合い、交流を深めることにより、より良好な地域づくりの輪を広げていくことを期す」ために開催されているものです。

これは、富岡地域づくり協議会・富岡地区新年賀詞交歓会実行委員会の45名が主体となって実施しています。

ところで、晴れやかに新年を迎え、元日には各地で初日の出がみられました。あるテレビ番組では、富士山に昇る初日の出を扱い、特にダイヤモンド富士と湖に映る逆さ富士を放送していました。その神々しさに心を打たれ、感嘆の声をあげられた方もいたのではないかと思います。



新年といえば、初夢もその話題のひとつです。江戸中ごろから明治中期にかけて売られたという宝船には、帆掛け舟に七福神が金銀財宝を山のように積んで乗り込んでいる絵がかかれていて、枕元に敷いて寝ると吉夢をみるという言い伝えがあったそうです。

吉夢の「一富士 二鷹 三茄子」とは、家康の住む駿河からみたよいものづくしというのが通説になっています。皆さんは、吉夢をみられたでしょうか。

さて、今年は酉年。巷では鶏にちなんで、働き者・じっとしてられない性格・動きが激しく変化が多い年、申と戌に挟まれて「犬猿をとりもつ」年・飛躍の年等々と評されています。



どんなものやらと思いながらスタートした本年は、幸先よく初日の出がみられた元日から穏やかな日々が続いて、順調な滑り出しでした。かように天気にも恵まれたから

でしょうか、本会には160名程の参加がありました。

そのセレモニーでは、渡辺実行委員長の主催者あいさつにはじまり、藤本所沢市長・柴山衆議院議員・岡田県議会議員・青木市議会議員より来賓ごあいさつをいただきました。

富岡地区の買い物支援隊による活動の報告・街路灯のLED化及びその促進・集団資源回収の助成金アップ等々の話がありました。

また、台風等の自然災害に対する対応や地域コミュニティの活動等に高齢者を含む地域住民の力の結集の大事さ等々が語られました。

つづいて、鏡割りに始まる祝宴の部がありました。荻野副実行委員長の乾杯の音頭を期に、祝宴・懇談がスタートしました。和気藹々のうちに予定していた時間があっというまに経過してしまいました。思ったより短い時間でしたが、貴重なまた充実した時間が過ごせたかなと思います。

結びに、本会にご参会いただいた皆様の絶大なるご協力に感謝申し上げます。

来賓のあいさつ



藤本市長



柴山衆議院議員



岡田県議会議員



青木市議会議員

祝宴：新年を祝い交流を図ります



乾杯



鏡割り



【前日からの準備】



【受付の様子】



【テーブルに並べられた料理】



【万歳（バンザイ）】

<編集後記>

奥秩父の山歩きからヒマラヤの白き峰々に登るといふ、夢をかたちにしなが
ら、その実現に向けて努力した日々。やがて、幾度かの海外登山を経験し、高所
登山における高度順化というハードルをどう乗り越えるかが、いつも大きな課題
でした。

世界第6位のチョー・オユー（8201m）から、神々の棲むヒマラヤを眺めた。
それは、山頂に辿り着いた者だけに許された、至福の瞬間である。……………

極限で描かれる自然の前では、人間の存在は無にも等しいものである。苛酷な
自然の風景が、時折見せる優しさに、温もりを感じ、それが辛く厳しいものであ
るほど、強い印象となって記憶に残る。「還暦で挑んだ憧憬の白き峰—チョー・
オユー（8201m）登山報告書2009年秋」のあとがきの一部を引用したもので
す。埼玉県東松山市在住の登山家 大山光一氏が記したものです。大山氏は、50
歳になってから本格的に登山を開始し、仕事と家庭を両立させながら世界七大陸
の最高峰登頂を達成しました。縁があってご本人とお会いする機会があり、お話
を聞かせていただきました。

その情熱と行動力には圧倒されるものがありました。

新年を迎えるにあたり、我々も「夢をかたち」の強い意志をもって、たとえ
小さな事にもチャレンジしたいと思います。